

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー琉大附属病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー沖国大前ー
琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路) 那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間: 土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2636433	<p>心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明をします。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間に指示します）。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 具体的な心理検査2 Y-G性格検査 第6回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査4 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査5 心理尺度（タイプA性格）</p> <p>【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タナカカンジ 田中寛二 琉球大学 人文社会学部准教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月14日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646145	<p>琉球文化を代表する楽器・三線が、アジアと日本の音楽の架け橋となっていることを振り返り、改めて三線を中心に、琉球芸能はどのように形成されてきたかについて、王国の歴史との関係から説明します。次いで、三線音楽を四つの様式（御前風・昔節・二揚・口説）に分け、それぞれの特徴と鑑賞のポイントを説明します。また、琉球舞踊の動きと音楽との関係、組踊の各役柄と音楽の関係について、見どころ、聴き所を説明します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 アジアに架ける楽器 三弦～三線～三味線 第2回 琉球芸能の始まり 古琉球～近世 第3回 琉球芸能の確立・発展 近世～近代 第4回 鳥々の歌のころ 八重山～沖縄 第5回 御前風様式と昔節様式 第6回 琉球舞踊の構造と鑑賞法 第7回 二揚様式と口説様式 第8回 組踊の「聴き方」 登場人物の性格付けと出羽の音楽</p> <p>【学生へのメッセージ】 沖縄に暮らす人の多くは歌や踊りが大好きです。しかし、歌うこと、踊ることが大好きなあまり、芸能の意味や多様な表現の在り方について「考える」人は希なようです。歴史を考え、音を考えることによって、新しい理解の地平を広げていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 組踊「銘苺子」について、ビデオなどで事前に視聴しておくことを推奨します（部分でも良い）。 (2) 参考となる図書を紹介し、興味がある人に奨めます。「参考書情報」の項を参照。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業の学習状況と試験により評価します。 授業の学習状況（4点）と試験（96点）により評価します。試験は、授業時間ごとに復習テストを行います（各12点×8回）。ノートの閲覧は自由です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 琉球の音楽を考える―歴史と理論と歌と三線（金城厚／榕樹書林／¥2,970／ISBN=9784898052358）</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	琉球三線音楽の歴史と鑑賞	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	カネシロアツミ 金城厚 沖縄県立芸術大学名誉教授	
日程実施時間	4月13日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月14日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2646153	授 業 概 要	<p>民俗学が古くから伝わる人々の暮らしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。</p> <p>本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常の暮らしの中で目にし、用いる機会が多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれ - 沖縄の民俗を学ぶにあたって - 第2回 ヒヌカン (火の神、かまどの神) 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコール (香炉) と線香 第5回 ウチカビ (紙銭) とジューバク (重箱に詰めた供えもの) 第6回 ビンシー (携行用の御願道具) と酒、米 第7回 ソーグワチ (正月)、シチグワチ (盆) の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常の暮らしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってみたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 各回のテーマに該当する教科書の項目を事前に読んでおいてください。 日常の暮らしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 指定した教科書「御願の道具と供えもの事典」を持参してください。</p> <p>【教科書】 御願の道具と供えもの事典 (稲福 政斉 / ボーダーインク / ¥2,420 / ISBN=9784899823308) 書店およびネット通販 (Amazon, honto, 楽天ブックス等) で入手可能です。 ※毎回の授業は、教科書と当日配布するプリントを使って進めます。</p> <p>【参考書】 ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事 (稲福 政斉 / ボーダーインク / ¥1,760 / ISBN=9784899823773) 書店およびネット通販 (Amazon, honto, 楽天ブックス等) で入手可能です。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	沖縄の民俗 —信仰と暮らし—		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	イナ フク マサ ナリ 稲福 政斉 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	4月21日 (日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646188	授 業 概 要	<p>私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の捜査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か？ 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (1): 心臓の働き (心電図、血圧) 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (2): 内臓の働き (超音波エコー) 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (3): 脳の働き (MRI、CT) 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報: 指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法: セキュリティ 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	「からだ」の情報を 取り出す技術		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	クニ タ イツキ 國 田 樹 琉球大学 工学部准教授		
日程実施時間	4月20日 (土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
	4月21日 (日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		
	※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		

科目コード	2646129	授 業 概 要	行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。 本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。
学習センター (コード)	47A		【授業テーマ】 第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？ －人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学 第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うの？ －これまでの経済学の間「ホモエコノミカス」 第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」① －代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス 第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」② －アンカリング効果とフレーミング効果 第5回 期待賞金額 ―くじから得られる平均的な賞金額 第6回 どうしてそのくじを買わないの？① －不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」 第7回 どうしてそのくじを買わないの？② －これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」 第8回 どうしてそのくじを買わないの？③ －不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」
クラスコード	K		
科目名	行動経済学		
科目区分	導入科目：社会と産業		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	ホリカカヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授		
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		【学生へのメッセージ】 講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 行動経済学入門(筒井義郎他/東洋経済新報社/¥2,640/ISBN=9784492314975) 【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
	※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636360	授 業 概 要	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】【その他(特記事項)】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター (コード)	47A		心理学の基礎的な実験の中から3つの実験(目撃者証言、ミュラー・リヤー錯視、心理尺度)を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
クラスコード	K		【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート作成 第4回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミュラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート作成 第6回 実験3「心理尺度(一対比較法、順位法、評定尺度法)」の実施 第7回 実験3「心理尺度(一対比較法、順位法、評定尺度法)」のデータ整理・分析とレポート作成 第8回 まとめ
科目名	心理学実験1		【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作(エクセル、ワード等)を習得しておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません(Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウス、USBメモリ(実験データ保存用)及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【その他(特記事項)】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的な知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究方法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授		
日程実施時間	5月11日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室		
	※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646161	<p>考古学は発掘調査を行い、土に埋もれた歴史を掘り起こす学問です。授業では、沖縄を中心とする琉球列島における発掘調査の成果を紹介し、そこからわかる沖縄の歴史について解説します。考古学の学問的特質について理解し、遺跡を通して沖縄の歴史を考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 沖縄考古学入門～考古学ってどんな学問～ 第2回 沖縄の旧石器時代～港川人と白保人～ 第3回 沖縄の貝塚文化～サンゴ礁と共に生きる狩猟採集民～ 第4回 宮古・八重山の先史時代～南の島の文化～ 第5回 グスク時代～農耕のはじまり～ 第6回 出土銭貨と貿易陶磁～行き交う文物～ 第7回 近世琉球王国時代～あの世から覗く近世社会～ 第8回 沖縄の近代の遺跡～近代化は島をどう変えたのか？～</p> <p>【学生へのメッセージ】 地下から発掘され、これまで知られていなかった沖縄の歴史について、年代を追って順に解説します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 琉球の考古学（宮城弘樹／敬文舎／¥2,200 / ISBN=9784906822355）※書店で入手可能です。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の考古学	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	28名	
担当講師	ミヤギ ヒロキ 宮城 弘樹 沖縄国際大学 総合文化学部教授	
日程実施時間	5月11日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月12日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時は閉講	

科目コード	2646064	<p>世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学という難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。</p> <p>数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけると思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 誕生日当てカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。 第2回 簡単な確率の問題を考えよう：라이어ゲームにも登場したゲーム 第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方 第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。 第5回 素数って役にたつの？ 第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。 第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。 第8回 国の借金1000兆円越え、国民一人当たり約1000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。</p> <p>【学生へのメッセージ】 毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを経験して欲しいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 数学の内容を扱いますが、小学校の算数の知識があれば大丈夫です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ノートを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	28名	
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 元琉球大学 教育学部准教授	
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2636387	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD: Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続は不要です。 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリ（実験のデータ保存用）及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フルカワタカシ 古川卓 琉球大学 保健管理センター教授		
日程実施時間	5月18日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月19日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646072	授	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>統計手法は、ある集団の特性を示すための数値データを算出することです。数値データを用いることによって集団の特徴を定性的でなく、定量的に検討することができるようになります。</p> <p>この講義では誰でも統計的な考え方を利用できるようになってもらうことも目指しています。そのための鉄則を提示しながら、講義を進めていきます。自分の達成を確認する意味で、自分で集めた比較したいと思っているデータの統計解析も体験してもらいます。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	暮らしの中の統計		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	タカギヒロシ 高木 博 琉球大学大学院 医学研究科准教授	業	
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月26日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	概	
		要	

【授業テーマ】

- 第1回 統計とは？度数分布とは？代表値にはどんなものがあるのか？
- 第2回 Excelで代表値の計算を実際にやってみよう
- 第3回 分散と標準偏差とは？偏差値とは？
- 第4回 Excelで分散、標準偏差、偏差値の計算を実際にやってみよう
- 第5回 検定をするということ？ T検定とは
- 第6回 Excelで検定を実際にやってみよう
- 第7回 自分で集めたデータで度数分布、代表値を求めて検定処理をしてみよう（1）
- 第8回 自分で集めたデータで度数分布、代表値を求めて検定処理をしてみよう（2）

【学生へのメッセージ】

頭を働かせるためにしっかりと体調を整えてご参加ください。

【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。

OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

本講義では、自分で集めた比較したいと思うデータを統計解析しますので、2種類のデータ（可能な限りそれぞれ20個）を用意してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1. 持参する端末
ノートパソコンを持参してください。
2. OSの指定
種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3. ソフトのインストール
WordとExcelが必要です。
4. その他
・USBメモリーを持参してください。
・ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自分で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2646170	授 業 概 要	<p>近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に 関係する古文書を取りあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面 を講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の全体的推移 第2回 蔡温の「自叙伝」「御教条」が語る琉球社会 第3回 真栄里親方「勅使（冊封使）御迎え日記」が語る対清国関係 第4回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・ 政治（1） 第5回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・ 政治（2） 第6回 琉球版科学「評定所科文」（試験問題と解答）が語る個人・家族・ 政治（3） 第7回 多良間島「間切日記」等が語る島の生活史 第8回 八重山島「怪我人帳」が語る島の生活史、全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 かつて薩摩藩に支配された時代は、「暗い時代」として捉えられてきました。 そのような一面的な捉え方に対して近年では多様な局面が明らかにされつつ あります。各自の抱く琉球史像を問い直す機会になることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史 山川出版社）の一読を薦 めます。『沖縄県史 図説編 前近代』（沖縄県教育委員会）も有益です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	古文書の語る琉球史		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授		
日程実施時間	5月25日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月26日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646099	授 業 概 要	<p>食と健康・栄養への関心は年々高まり、これらの情報がマスメディアに出 ない日はありません。日々の会話の中でも糖質制限、酵素ダイエット、ポリフェ ノール、ω3脂肪酸などの用語が頻繁に出てきます。健康・栄養情報の中 には科学的根拠の乏しいもの、正確さを欠くものが多々あります。栄養学を科 学的に学ぶことであふれる情報を取捨選択する力に、また健康的な食生活を 営むための一助になると考えます。 本講義では、暮らしのなかで活かせる栄養学のエッセンスを、またマスコ ミによく出てくる栄養の科学を基礎から分かりやすく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 イントロダクション 人体の構成（元素、分子、細胞） 第2回 人体の構成（組織・器官） 第3回 栄養素の科学1 糖質 第4回 栄養素の科学2 タンパク質 第5回 栄養素の科学3 脂質 第6回 ビタミン・ミネラル 第7回 食べ物が消化吸収されてエネルギーに代わるまで 第8回 食と生活習慣病</p> <p>【学生へのメッセージ】 巷には食と栄養の情報が氾濫しています。栄養の理解には最低限の化学知 識が必要です。この講義では栄養を可能な限り平易な言葉で解説します。化学、 生物学を並行して勉強することで授業がより容易く理解できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 エッセンシャル栄養化学(佐々木 勉/講談社/¥3,400 / ISBN=9784065238066)</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	暮らしの中の栄養学		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	12名		
担当講師	タマ キ ハジメ 玉 城 一 元琉球大学 農学部准教授		
日程実施時間	6月1日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月2日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646110	授	内容は、子ども理解、子どもはなぜ、落ち着かず、暴力を振るうのかであり、幼児期からの育ち、子どものライフヒストリー（生育歴）と深く関わりがあることに迫るものです。そこには、発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての具体例も出てきますし、満たされない生育歴を持ち、思いを大人に対して抱えたまま大きくなった子ども登場してきます。どう子どもを理解し、関われば良いのか、明らかにしたいと考えています。
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	荒れる子どもの ナゾを解く		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	28名		
担当講師	タン ノ キョ ヒコ 丹野 清彦 琉球大学大学院 教育学研究科教授		
日程実施時間	6月1日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	業	【授業テーマ】 第1回 子ども理解、飛び出す子とアイドル女子。私はなぜ殴られた？ 第2回 ネコが友だち、すれ違う大人と子どもの幸せ。子どもにとっての幸せとは？ 第3回 異化と同化、やってみよう学級の歌づくり（ワークシヨップ） 第4回 発達障害の特性、感情コントロールに苦しむ子ども 第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きる子ども 第6回 ある少女の叫び、詩を書くことでモニタリング。表現してみよう！ 第7回 人生は友だち探しの旅、だれかを求めて生きる 第8回 まとめ
	6月2日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【学生へのメッセージ】 この講義は楽しいです。自分の経験や考えを交流し、楽しく学んでいきましょう。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	要	【受講前の準備学習等】 事前に教科書を購入して読んでおくとう理解が深まります。当日はこの本を使い説明しますので、持参してください。
	※不測の事態発生時は閉講		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 教科書を当日持参してください。
			【教科書】 子どもの願い いじめVS 12の哲学（丹野清彦／高文研／¥1,650／ISBN=9784874986479）書店やインターネットで事前に購入してください。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ペアや3人組などを作り、飽きることなく、アクティブラーニング的に活動する場面もあります。 気楽に参加してください。

科目コード	2646080	授	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】【受講者が当日用意するもの】【その他（特記事項）】を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 大学では多くの講義でレポートや論文（学術的な文章）が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。 この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方（構成）、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的事柄を学びます。
学習センター (コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	日本語の文章表現		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	16名		
担当講師	タカハシ ミナコ 高橋 美奈子 琉球大学 教育学部准教授		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	業	【授業テーマ】 第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう
	6月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【学生へのメッセージ】 大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。
実施会場	沖縄学習センター 実習室	要	【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 Microsoft Word（ワード）で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。
	※不測の事態発生時は閉講		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレット（キーボードがあるもの）を持参してください（スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 3. ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 4. その他 ・USBメモリスティック（4GB以上）を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書（『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法』ひつじ書房）は、事前に購入して、当日持参してください。 ・参考図書は、購入不要です。
			【教科書】 失敗から学ぶ大学生のレポート作成法（近藤裕子・由井恭子・春日美徳／ひつじ書房／¥1,760／ISBN=9784894769700）
			【参考書】 論文・レポートの基本 この一冊できちんと書ける！（石黒圭／日本実業出版社／¥1,540／ISBN=9784534049278）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2646200		琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をとおして学習します。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K	授	【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種は何が問題なのか？(実習含む) 第6回 外来種の食性(実習) 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ
科目名	琉球列島の生物多様性と保全		
科目区分	専門科目：自然と環境	業	【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持ってもらえると内容がわかりやすいと思います。
ナンバリング	320		
定員	15名	概	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	コバヤシ シュン 小林 峻 琉球大学理学部助教		
日程実施時間	6月8日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	要	【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月9日)は生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 生物多様性と地球の未来 -6度目の大量絶滅へ？(太田 英利(監修, 翻訳)、池田 比佐子(翻訳) / 朝倉書店 / ¥3,740 / ISBN=9784254171655) いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律(中島慶二(監修)、益子知樹(監修)、山と溪谷社いきもの部(編集) / 山と溪谷社 / ¥1,980 / ISBN=9784635590518)
	6月9日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室 ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2646102		大人の食育は、自分を大切に、次の世代への「こころの相続」をするためには重要と考えます。厚労省によると「現在65歳まで生きている人は、2人に1人は90歳まで生きる」、総務省は「2040年には、単独世帯は約40%に達すると予測される」、またある研究では「子ども2007年生(17歳)の半数が、107歳まで生きる」とされています。これからの「お一人様の時代!」100年生きる食の哲学、食のモデルと成り得る学校給食、3歳児からのクッキングなどを学び次の世代に伝えるための授業を行います。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K	授	【授業テーマ】 第1回 「大人の食育」は次世代に影響を与える学び!(森山、井口) 第2回 目からウロコの学校給食術(森山) 第3回 学校給食から学ぶ(井口、森山) 第4回 3歳児クッキングの理論とおやつ(森山) 第5回 3歳児クッキング・朝ご飯をつくろう!調理①(森山、井口) 第6回 3歳児クッキング・朝ご飯をつくろう!調理②(森山、井口) 第7回 おひとり様時代を考える食育[琉球料理についてあなたが伝えたい家庭料理と行事食](井口、森山) 第8回 まとめ(これまでのふりかえり)(森山)
科目名	大人の食育		
科目区分	導入科目：生活と福祉	業	【学生へのメッセージ】 「お一人様時代!」の今、3歳児から朝ご飯がつくれる調理理論とスキルの他、沖縄の食の哲学、土産土法、SDGsの観点から自分で調理する重要性をご紹介します。
ナンバリング	220		
定員	10名	概	【受講前の準備学習等】 課題2つ。それぞれ200文字程度にまとめ講義開始前に、提出をお願いします。シェアもあります。①「受講の目的」②「あなたの伝えたい家庭料理と行事食」です。
担当講師	モリヤマ カツ コ 森山 克子 放送大学沖縄学習センター客員准教授 / 沖縄キリスト教短期大学非常勤講師 イグチ ナオ コ 井口 直子 琉球大学農学部准教授		
日程実施時間	6月15日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10	要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 材料費等(800円)は初日の受付時に徴収します。爪を切り、付けマニキュア等は落としてください。また、エプロン、三角巾をご準備してください。 【教科書】 目からウロコの学校給食術-海洋県沖縄における学校給食からの食育(森山克子/協同出版/¥1,980 / ISBN=9784319002894)各自、書店等で事前に購入してください。入手までひと月くらいかかる場合もありますのでご留意ください。
	6月16日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター小講義室、 一日目3時限目から 琉球大学教育学部307室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 講義二日目に調理を行います。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」及び「通学中等傷害危険担保特約」(40円)の両方に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入して下さるようお願いいたします。(開設科目一覧P.17参照)

科目コード	2646218	授 業 概 要	<p>本講義では、植物の中でも特に被子植物の多様性とその進化について様々な角度から学びます。植物の多様性と進化についての理解を深めるために、植物の形態と機能、動物や菌類と植物との共生、島における進化などを順に学習していきます。具体的な植物の例としては、可能な限り、沖縄をはじめとした琉球列島の植物を取り上げます。さらに、植物多様性の危機と保全を含むさまざまなトピックスを取り上げ、自ら植物を観察する目を養う学びとすることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 今なぜ植物を学ぶのか？：その定義・特徴・魅力と楽しみ方 第2回 植物の形態と機能 第3回 植物の多様性と進化 第4回 琉球列島の植物概説 第5回 植物と共生 第6回 島の植物生態学 第7回 植物の保全 第8回 植物を巡る物語</p> <p>【学生へのメッセージ】 植物を含む生物全般に対して興味を有することが望ましいですが、授業を通して新たに興味を持てるのであれば履修を歓迎します。授業を履修した後、これまでとは違った見方で植物を観察できるようになることを期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 身近な植物を観察し、植物図鑑等を用い、植物名を調べてみてください。また進化に関する本を事前に読んでおくと、授業の内容の理解がより深まることが期待されます。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 花と動物の共進化をさぐる：身近な野生植物に隠れていた新しい花の姿（種生物学会／文一総合出版／¥2,970／ISBN=9784829962084） 琉球の樹木－奄美・沖縄－八重山の亜熱帯植物図鑑（大川 智史, 林 将之／文一総合出版／¥6,050／ISBN=9784829984024）</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	植物の多様性と進化		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ワタ ナベ ケン タ 渡 邊 謙 太 国立沖縄工業高等専門学校 校技術専門職員		
日程実施時間	6月15日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月16日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2636972	授 業 概 要	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター（コード）	47A		
クラスコード	K		
科目名	臨床心理学実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サ トウ ヒト ミ 佐 藤 仁 美 放送大学准教授		
日程実施時間	6月22日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月23日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2646137	授 今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、和食文化を中心とする食文化の誕生と発展、酒・茶・菓子の地域特性など、我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。 【授業テーマ】 第1回 はじめにー農業と風土と地域性ー 第2回 世界の農業と食糧問題 第3回 日本農業の地域特性 第4回 沖縄農業の地域特性 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 和食の誕生と発展そして完成 第7回 酒・茶・菓子にみる日本の食文化 第8回 まとめーこれからの日本農業と食文化ー 【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 地図帳（市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまわない。スマホ等の地図アプリ使用可）、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	食と農の地理学	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	オガワ マサル 小川 護 沖縄国際大学 経済学部教授	
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月30日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	

科目コード	2646196	この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD:Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が、社会にどのような影響を及ぼしているのか、また、反対に、社会や文化が、デジタルメディアの活用・発展にどのような影響を及ぼしているのか、について考えていきます。また、実際にインターネット上で無料で提供されているツールを試用して、インターネット活用の可能性を体験していただきます。 【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能（AI）とビッグデータ 【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただきたいと思っています。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 放送大学システムWAKABAに、少なくとも1度はログインしてみてください。また、放送大学のメール（Gmail）をチェックしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業への参加態度及びレポートの評点により行います。レポート課題では、授業で扱ったトピックについて、今後自分なりにどう向き合っていくのかを最後にまとめてもらいます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンのみは不可）。タブレットの場合、キーボードが別にあると良いです。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Google Chromeを使用します。 4. その他 ・放送大学のシステムにログインするためのパスワード ・Google Chromeの最新版を入手してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 持参する端末は事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター（コード）	47A	
クラスコード	K	
科目名	デジタルメディアと社会	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教授	
日程実施時間	6月29日（土） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月30日（日） 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室 ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施	